

松浦武四郎記念館 展示リニューアル 業務委託 仕様書

本仕様書は、松阪市が発注する「松浦武四郎記念館 展示リニューアル 業務委託」を受託する者の業務について、必要な事項を定めたものである。

1. 委託業務名

松浦武四郎記念館 展示リニューアル 業務委託

2. 委託対象施設

施設名 松浦武四郎記念館
所在地 三重県松阪市小野江町383番地
構造 鉄筋コンクリート造平屋建て
延床面積 850㎡

3. 業務対象範囲

(1) テーマ展示室1 (旧企画展示室・映写室)	床面積 120.00㎡
(2) テーマ展示室2 (旧常設展示室の一部)	床面積 126.00㎡
(3) 企画展示室 (旧常設展示室の一部)	床面積 126.00㎡
(4) ホール (旧湯沸室を含む)	床面積 106.00㎡
(5) 多目的室 (旧会議室)	床面積 70.00㎡

4. 委託期間

契約締結日 から 令和4年2月28日 まで

5. 委託料の支払い

委託料の支払いは、原則として業務完了検査後に精算払とする。

6. 委託業務の目的

平成6年7月に開館し、令和2年7月で開館から26年を迎えた松浦武四郎記念館が、老朽化した設備や展示パネルの情報が古いため、施設のリニューアルを行い、松浦武四郎の生涯や功績をわかりやすく伝えるとともに、重要文化財に指定された「松浦武四郎関係資料」を展示することで、さまざまな顔を持つ武四郎の姿を紹介する博物館とすることを目的とする。

7. 業務方針

- (1) 令和2年度に実施した施設リニューアルに係る設計業務委託のうち、展示リニューアルに係る実施設計図書（別添）に基づいて業務を実施すること。
- (2) 本業務は、発注者である松阪市だけでなく、別途発注する「松浦武四郎記念館 内部・外構改修工事」の請負業者および同工事の監理者とも十分協議を行うこと。
- (3) 重要文化財「松浦武四郎関係資料」の展示・収蔵を行う施設であることから、業務の実施にあたり、発注者及び三重県、文化庁等との協議が必要となる場合がある。

8. 業務内容

本業務は、7の(1)であげた実施設計図書に基づき、次に掲げる業務を行う。

なお、業務の実施に当たっては、展示対象資料に重要文化財が含まれることを十分に理解した上で実施すること。

(1) 展示製作・設置業務

①展示製作図作成

②展示製作工程計画作成

③展示製作

- ・展示造作（展示壁、展示ケース、展示台等）
- ・演示具（演示台、資料展示補助用品等）
- ・グラフィック、サイン
- ・映像、情報コンテンツ制作
- ・演出照明
- ・映像機器、情報検索機器
- ・その他展示設計で定める必要な展示物

④展示製作物の設置・調整

- ・展示製作物等の運搬搬入、設置、現場調整等
- ・電気設備（分電盤までの配管・配線含む照明器具設置、調整等）
- ・映像機器、情報検索機器等（設置、システム調整）

⑤展示維持管理費算出

(2) 展示製作・設置業務に付随する業務

①重要文化財の展示に係る三重県、文化庁への説明資料等の作成

②松浦武四郎記念館運営審議会（業務期間中1回を予定）の会議資料の作成

③松浦武四郎記念館 内部・外構改修工事受託者および同工事監理者との調整

④打合せ記録等の作成

9. 成果品

成果品については、以下のとおりとする。なお、提出時期や提出部数、電子データの形式については、発注者との協議の上決定する。

(1) 展示製作・設置業務

- ・展示製作工程計画書
- ・展示品等製作物及び備品等一式
- ・竣工図
- ・作業状況の分かる写真
- ・展示維持管理計算書

(2) 展示製作・設置業務に付随する業務

- ・打合せ記録

(3) その他

- ・上記電子データ（CD-RもしくはDVD-R）
- ・その他発注者が求める資料

10. 実施体制等の要件

- (1) 本業務を確実に履行できる体制を設けること。
- (2) 本業務の実施に当たっては、受託者側で業務責任者を決定し、事業の進行管理を行うこと。
- (3) 業務責任者は、過去15年間に、国または地方公共団体が発注する博物館施設（博物館法（昭和26年法律第285号）第10条又は第29条に規定された施設のうち、歴史・人文系の博物館であり、展示室の面積が300㎡以上あること）の展示製作に関する工事または業務委託において、実務経験を有する者であることとし、そのことを証明する業務経歴書（様式は任意）を提出すること。
- (4) 本市との窓口は、業務責任者が行うこと。
- (5) 本業務の実施にあたり、受託期間中に定期的に発注者と打合せを行い、進捗や業務内容について協議すること。

11. その他

- (1) この仕様書に定めるもののほか必要な事項、疑義が生じた場合は、その都度協議を行い決定する。
- (2) 受託者は業務の実施にあたり、関連法規を遵守するとともに、監督員と連携を密に保ち、随時報告を行い本業務の円滑な推進に努めること。
- (3) 業務の実施にあたり、必要な資料は発注者が貸与する。ただし、貸与する資料については、取り扱いに十分注意するとともに、破損・紛失等の重大な過失が生じた場合は、受託者がその責任を負うものとする。
- (4) 本業務の実施により知り得たことについて、他に漏らしてはならない。
なお、本事項は業務が終了し又は解除された後においても同様とする。
- (5) この仕様書に定めのない事項であっても、発注者が必要と認める簡易な指示事項については、契約金額の範囲内で実施するものとする。
- (6) 成果品の著作権は、発注者に帰属するものとする。また、他人に著作権のあるものを使用する場合には、著作権者の承諾を得て、発注者に報告するものとする。
- (7) 業務の着手に先立ち、すみやかに工程表を作成し、監督員の承認を得ること。
- (8) 現場の管理は、労働基準法、労働安全衛生規則、その他の関係法令に従い、現場の労働者他の出入りの監督、風紀衛生の取締り、並びに火災、盗難などの事故防止について遺漏のないようにすること。以上の災害については、引渡し前においては全て受託者の負担とする。また、場内は、常に整理整頓すること。
- (9) 業務対象範囲内の既存建築物・工作物・植栽、設置済みの展示物、未使用材などで、汚損または損傷のおそれのあるものについては、適切な方法で保護・養生をすること。
- (10) 現場業務の完了に際しては、業務対象範囲内及び当該範囲に至る経路等の後片付け、清掃を入念に行うこと。また、発生した廃棄物などについては、関係法令に従い適切に処理すること。
- (11) 材料は特記のある場合を除き、設計図書に適合する新品を使用すること。また、JIS規格のある材料は、展示設計図書に定めのない限り規格品を使用すること。なお、材料の品質が明記されていない場合は、監督員の指示による。グリーン商品を積極

的に利用するよう努め、使用するグリーン商品品目は監督員と協議する。ホルムアルデヒド発散建築材料（告知規制対象建材）を使用する場合、F☆☆☆☆の区分のものとし、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼンの放散量の極力小さいものとする。

- (12) 展示物などの製作・施工に先立ち、監督員との協議において見本品が必要とされたものについては、見本品を作成して監督員に提出し承認を得ること。また、必要に応じて、見本品により発注者の意見を聴取し、製作・施工に反映させるものとする。
- (13) 業務対象範囲への資料、製作物、資器材などの搬入は、監督員の指示によって行うものとする。また、搬入作業の開始及び終了時には、監督員に報告し承認を得るものとする。
- (14) 展示物などの製作・施工にあたり、監督員が必要と認めた場合には、受託者は中間検査を行い、その結果を監督員に報告するとともに、その処理について監督員と協議のうえ決定すること。
- (15) 展示物などの製作・設置にあたり、建築本体に新たな工事が生じる場合には、監督員の立会いのもと内部・外構改修工事の請負者及び工事監理者と協議を行い、双方に支障のないように調整すること。
- (16) 展示物の製作にあたり、資料・写真原版・原画などの許可申請は、原則として受託者が行い、発注者はこれに協力する。
- (17) 受託者は、契約約款の定めにより、契約の内容に適合しないもの（施工不良またはこれにより生じたと認められる損傷や不具合）があるときは、すみやかに補修するものとする。これに要する経費及び損害賠償については受託者が負担するものとする。
- (18) 受託者は、警備員等の雇用条件、賃金の支払い状況、作業環境を十分に把握し、適正な労働環境を確保しなければならない。なお、賃金の支払い状況において、従事者から未払い等の申し出があり、発注者が必要と認める場合は、その状況を確認できる資料を提出するものとする。また、必要に応じ労働基準監督署等の関係機関へ照会、通報することができるものとする。

1 2. 連絡先

松阪市文化課 松浦武四郎記念館 山本命 0598-56-6847 （休館日：月曜日）